

入院中に精神科リエゾンチームの介入を受けた患者さんの診療情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「精神科リエゾンチーム回診記録の実態調査およびせん妄に薬剤が関与していると考えられるリスク因子解析」を行うことになりました。

この研究の目的は、入院中に発生した、せん妄（注意、認知、意識レベルが一時的に障害される病態）が、どの様な状態で発生するのかを明らかにすることです。

この研究のため 2019 年 4 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日までに当院に入院した患者さんの中で、せん妄状態と判断され精神科リエゾンチームの介入が行われた方を対象とし、診療録、検査データの調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、性別、診断名など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

2021 年 1 月 研究責任者

東京医療センター 薬剤部 新保 一
連絡先 03-3411-0111（代表）